

1. 事業説明シート

(区分) 国補・県単

事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]	事業箇所	南都留郡道志村白井平	地区名	御正沢 (ミシヨウザワ)	事業主体	山梨県
-----	--------------------	------	------------	-----	--------------	------	-----

(1) 事業の概要

①課題・背景
 本溪流は流域面積0.47km²の土石流危険溪流である。流域内は崩壊や溪岸浸食が進行し、溪床には不安定土砂、転石が堆積しているとともに、溪岸沿いには立木が密集している。今後の台風や集中豪雨時には、土砂流出、流木による土石流発生の危険が高まっている。保全対象は、人家32戸のほか第二次緊急輸送道路である国道413号、村道等の公共施設も存在し、土石流が発生すると甚大な災害を引き起こすことが予測される。この溪流には砂防施設が設置されているが整備率が低いため、土石流を抑止する砂防堰堤を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。

②整備目標・効果
 主要目標 土石流被害の防止
 ・災害実績 無
 ・土砂整備率 0% < 70%※
 ・重要公共施設の有無 有 (国道)
 (保全対象=人家32戸、国道413号 190m、宿泊施設2軒)
 ※評価基準値

副次目標 ー

副次効果 被災時の被害波及防止
 ・保全対象に第二次緊急輸送道路 (国道413号) を有する

(2) 整備内容

①整備内容
 砂防堰堤 1基 H=11.5m L=85.0m

②着手年度 令和4年度 **③完成見込年度** 令和13年度

④総事業費 約400百万円 (国費200百万円(5/10)、県費200百万円(5/10))

⑤年度別の整備内容 (事業費)

令和4年度	詳細設計・用地測量	30 百万円
令和5年度	用地取得・立木補償・砂防堰堤工事	40 百万円
令和6年度	砂防堰堤工事	40 百万円
令和7年度	砂防堰堤工事	40 百万円
令和8年度	砂防堰堤工事	40 百万円
令和9年度	砂防堰堤工事	40 百万円
令和10年度	砂防堰堤工事	40 百万円
令和11年度	砂防堰堤工事	40 百万円
令和12年度	砂防堰堤工事	40 百万円
令和13年度	砂防堰堤工事	50 百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費
 砂防堰堤 1基

(3) 事業の妥当性評価 妥当 妥当でない

①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当 妥当でない
 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当

②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 妥当 妥当でない
 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当

③経済妥当性 妥当 妥当でない

総事業費	400 百万円	工期	R4~R13	基準年	R3
経済効率性	費用	301 百万円	便益	398 百万円	
	建設費	301 百万円	一般資産被害抑止	114 百万円	
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	20 百万円	
		百万円	公共土木施設等被害	7 百万円	
		百万円	その他※	257 百万円	
B/C			1.3		

※その他は応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失)
 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている

④事業実施・規模の妥当性 妥当 妥当でない
 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である

⑤整備手法の有効性 妥当 妥当でない
 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画

⑥環境負荷等への配慮 妥当 妥当でない
 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮

⑦事業計画の熟度 妥当 妥当でない
 地元の要望に基づいている

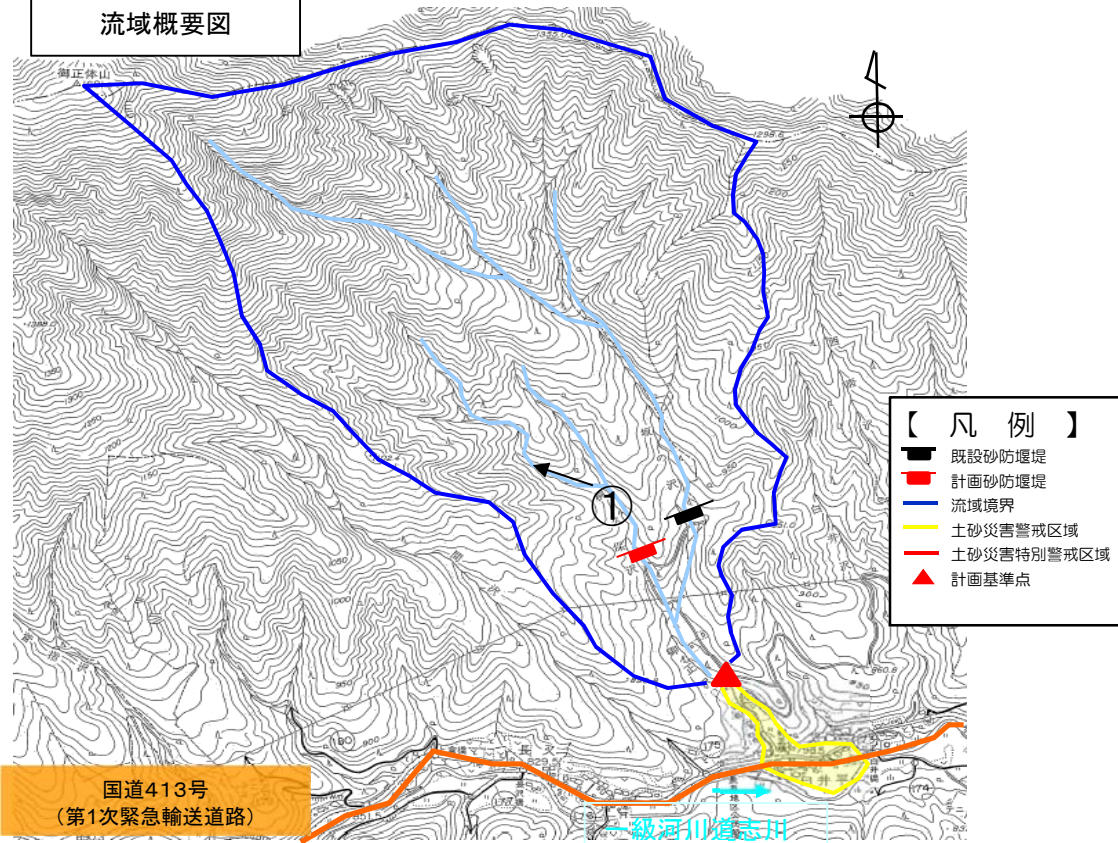
総合評価

[貢献度ランク: a]



2.添付資料シート

流域概要図



荒廃状況



保全対象



堰堤正面図

